

来週の「売り物」記事はこれ



2012年6月1日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

ただいま話題沸騰！

超大型読み物「S（ストーリー）」！！

被災地へ、英国へ。火葬の検討… 天皇陛下の「決意」 朝刊 3日（日）



心臓のバイパス手術からわずか3カ月——。天皇陛下はエリザベス女王即位 60周年の祝賀行事に出席するため、5月16日から5日間の日程で英国を訪問されました。その直前には、東日本大震災の被災地である宮城県を訪れました。宮内庁サイドには、陛下のお体を心配して慎重論が根強かったそうですが、陛下は強い意思で被災地へ、英国へ向かわれたといいます。そして、国民を驚かせた羽毛田信吾宮内庁長官（当時）の「火葬検討」の発言。むろん、陛下ご自身のご意向を受けてのことです。即位以来、「国民とともに」と願われ、戦前、戦中の「現人神（あらひとがみ）」ではない、自らが信じる「象徴天皇」の姿を確立させたいという、強い決意がにじみます。知られざるエピソードを織り込みながら、十年来、皇室をウオッチし続けてきたベテラン記者が陛下の実像に迫ります。

日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。

第67期本因坊戦七番勝負 第3局 4日（月）

第67期本因坊戦七番勝負は5、6日、福島県会津若松市の「今昔亭」で第3局が打たれます。挑戦者・井山裕太天元が開幕から2連勝。本因坊道吾に水をあけています。

第1局は、道吾が意欲的に動きましたが成功せず、単手数で投了。第2局は一転して互いの手の内を探りながらゆっくりとした展開となり、終盤は大激戦。難解な碁を井山が寄せきりました。

そして第3局。道吾が1勝して流れを変えるか、井山が勢いに乗って3連勝か。熱戦が期待できそうです。

シリーズインタビュー「時代を駆ける」 5日（火）より



祖国アフガニスタンの医療、教育を支援するNGO「カレーズの会」（静岡市）理事長で医師のレシャード・カレドさん（62）＝写真＝を取り上げます。静岡市島田市で医院と介護老人保健施設など4施設を営み、お年寄りのための地域医療にも取り組んでいます。子供のころ、貧困から医者にかかれぬ人たちをみて医師を志し、日本の国費留学生として来日し、帰化しました。NGO名の「カレーズ」は「命の水」という意味です。レシャードさんは、アフガンでは「共存と対話」、日本では「いたわり」、それぞれの文化が失われていると警鐘を鳴らします。

おいしく減塩！ くらしナビB面 5日（火）

塩分を控えた食事はどうしても薄味になり、物足りなく感じます。料理研究家の奥菌寿子さんに、簡単な「減塩料理」を聞きました。オムライスにご飯や卵に味をつけず、ケチャップの味付けだけで十分。肉ジャガや豚汁もだしを利かせ、塩に頼らずに風味を出せます。具材の表面に味を付けるのがポイントで、驚くほどおいしく仕上がります。

下着に見る女心は くらしナビB面 7日（木）

東京・銀座に国内最大規模のランジェリー売り場がオープンするなど、下着でおしゃれを楽しむ人が増えてきました。見せる下着がブームになりましたが、最近では、身に着けて心地良いものが好まれているようです。補整下着もきつく締め付けるものより、すっきりしたラインを楽しむ程度に。センスのよい下着で、内側の充足感を求める女性心理を探ります。

「わが国のエース」素顔を紹介 日中韓3紙協力・ロンドン五輪特集 7日（木）

世界中が注目するロンドン五輪（7月27日開幕）は7日、開幕50日前の節目を迎えます。これに合わせ、毎日新聞と、提携する中国青年報（中国）、朝鮮日報（韓国）の3紙が協力し、五輪特集紙面を掲載します。今回各紙の記者が取り上げたのは、金メダル候補で各選手団の「顔」となる選手。中国は、陸上競技男子110メートル障害のアテネ五輪金メダリスト、劉翔選手を紹介します。韓国代表は、北京五輪で水泳男子400メートル自由形優勝の快挙を成し遂げた朴泰桓選手。毎日新聞は、体操男子個人総合の金メダルが期待される内村航平選手を取り上げました。加えて、各国の「メダル皮算用」も紹介。この企画は、毎日新聞紙上だけでなく、中韓の両紙にも掲載されます。アジアのライバル国の選手たちにもご注目を。

別府レトロ旅 くらしナビA面 8日（金）

日本を代表する温泉地、別府（大分県）で、レトロブームが起きています。ネオン街では、昔ながらの「流し」の演奏が付いた散策ツアーが企画され、オールディーズ音楽に合わせてダンスができるレストランも人気。和風サウナ「蒸し湯」など、湯けむり情緒も健在です。古くて新しい温泉街の魅力を紹介します。

夕刊特集ワイド面 5日（月）

～「家族のウタ」打ち切り、「清盛」視聴率低迷…

テレビドラマの世界に何が起きているのか～

オダギリジョーが落ち目のロックミュージシャンを演じる「家族のウタ」（フジ、日曜午後9時）が視聴率3%台に落ち込み、第8話で打ち切り。同じくフジが水曜日午後10時に放映する「クレオパトラな女たち」は脚本家の大石静がブログで第8話で終了することを明らかにした。NHK大河ドラマ「清盛」さえ低視聴率に喘ぐ。地デジの影響でドラマの制作現場への予算が削られていると言われるが、本当にドラマの質が低下しているのか、ドラマ離れが起きているのか、識者が読み解く。